

カタツムリの観察

パート3



令和7年6月20日(金) ほし2組



かたつむりが卵を産んで1か月がたちましたが、上手に孵化することが出来ませんでした。子どもたちと話をし、園庭の土に穴を掘って埋めることにしました。「元気でね。」と手をあわせている子もいました。

つき組さんのかたつむりの卵から赤ちゃんが産まれたので、見せてもらいました。あまりの小ささに驚いている子が多く、じっくりと観察していました。「何食べるのかな？」と赤ちゃんのご飯の心配をしている子もいました。



かたつむりは元気で引き続きご飯をあげています。給食室から2種類の野菜をもらった時は「どっちが好きかな?」「かぼちゃが好きなんじゃない?」と予想しながら、飼育ケースをのぞいていました。

ある日、かたつむりを観察しているとかたつむりの殻が割れているのを見つけました。調べて、貝殻を食べると良いことが分かり入れてみることにしました。「大丈夫かな?」「ちょっと



元気ないみたい。」と心配している子もいました。割れた殻は少しずつ治り、「元気になってきたね。」と嬉しそうに話していました。



かたつむり以外にも、ダンゴムシやバッタ、カエルなどいろいろな生き物にも興味をもって関わる姿が見られます。散歩先でバッタを見つけて捕まえて観察したり、カエルのおもちゃを作って遊んだりしています。これからも、夏の昆虫など自然に触れることが出来る機会を持ち、子どもたちの発見や驚きに共感し興味を深めていきたいです。

